

事件 file002 クラスのアイドル殺人事件

登場人物

●被害者

Y：あなたとは同学年で別クラスの学園生。人見知りな性格で人付き合いは薄いものの、端正な見た目により男子から絶大な人気を誇る。

●容疑者

X：あなた。Yとは別のクラスで、直接的な関わりはほぼ無い。

A太：あなたと同じクラスの男子で、過去Yに告白して振られている。

B乃：他学園の女子。Yの唯一ともいえる親友で、事件当日の朝までYと共にいた。

C花：B乃の先輩。事件当日の朝、所持している自動車が不在だったと証言されている。

事件概要

○月×日(月)。8時00分。学園へ登校途中だったXは突然の腹痛に耐え兼ね、近くの公園の男子トイレへと駆け込む。

一番手前の個室へと飛び込み、何とか事なきを得たものの、違和感を覚えて立ち止まった。

トイレ内を見渡すと、一番奥の個室の扉だけ妙に開け放たれており、特に深く考えることなくXは中を覗く。

同日8時15分。個室の中には頭部から血を流して意識を失っている様子のYの姿が。Xは何度かYの名前を呼びかけるも応答が無いのを受け、警察と救急に通報。その後すぐにYの死亡が発覚した。

死因は頭部を鈍器で強く殴られたことによる脳挫傷。傷の位置や程度、現場から凶器が見つからなかったことなどから他殺と断定された。

死亡推定時刻はおよそ4時00分から8時00分までの間。

発覚当時、遺体が着用していた制服は着崩れていたものの、頭部以外に外傷はなく、暴

行を受けた形跡などは見当たらなかった。

Xの自宅から学園までは徒歩でおよそ20分の位置にあり、遺体が発見された公園はちょうどその中間あたりに存在。

また、当日Yが出発したとされるB乃宅から学園までの直線距離上にも位置しているため、通学途中での犯行と見て捜査された。

最終的に遺体の第一発見者であり、事件当時のアリバイがなかったXに殺人の容疑がかけられた。

この事件の真犯人と、殺人のトリックを暴け。

容疑者の特徴と事件当日の行動

●A太

- ・粗暴な性格で、欲しいと思ったものは手に入れないと気が済まない。
- ・その性格が災いし、中学時代では女性関係のトラブルが絶えなかった。
- ・Yに一目惚れし、半年ほど前に告白するも玉砕。以降何度も接触を試みるもYのクラスメイトにより度々阻害されている。A太の言動についてY自身も迷惑そうにしていたと複数の証言が上がっている。
- ・事件当日は7時30分ごろに自宅を出て、8時30分ごろに学園へ到着したと証言。
- ・一人暮らしのため家を出た時刻を立証する手段はないものの、電車通学に利用している定期券には当日の7時50分～8時10分における利用履歴が残っている。
- ・同区間における始発は4時00分、終電は0時00分。
- ・また事件当日を除いて最後の利用履歴は金曜日の19時20分～19時50分。
- ・遺体が発見された公園は電車を降りた後の通学ルート上に存在。

●B乃

- ・隣町の女学園に通う学生。
- ・デパートのコスメコーナーで店員に話しかけられず困っていたYを助けたのがきっかけで交友関係となり、現在ではYの唯一の親友と呼べる存在に。
- ・A太とは同じ中学校に通っており、当時告白してきたA太を振った際、腹いせに集団で暴行を加えられたトラウマから男性恐怖症に。自宅から離れた現在の学園へと進学。
- ・事件前日からYと2人で行動を共にしており、夜はB乃宅にて初のお泊り会が行われていた。
- ・事件当日6時30分ごろに2人とも起床。朝食と支度を済ませ、7時30分ごろ同時にアパートを後にし、それぞれの学園へと登校。最初からその予定だったため、Yには事前に制服を持参させていたと証言。
- ・一人暮らしだが、7時30分ごろにゴミ出しに出てきていた同じアパートの住人により、B乃ともう1名、Yと同じ制服を着た女子が共に建物から出てくる現場を目撃したとの証言がされている。
- ・B乃宅から女学園までは電車を利用しておよそ1時間00分、Yの通う学園までは徒歩でおよそ30分の場所に位置している。
- ・事件当日、8時30分ごろにB乃が教室へ入ってきている姿をクラスメイトが目撃している。
- ・同区間における始発は4時00分、終電は0時00分。

●C花

- ・B乃と同じ女学園の卒業生で、現在は会社勤務。
- ・B乃とはかつて同じ部活動に所属しており、2人はまるで姉妹のような間柄だったと当時の部員からは証言されている。
- ・Yとの直接的な関わりは皆無。接点も無かったとされている。

- ・ 事件当日は 8 時 00 分に車で自宅を出発し、8 時 30 分に会社に到着したと証言。
- ・ 一人暮らしのため家を出た時刻を立証する手段は無い。
- ・ 9 時 00 分の始業から 18 時 00 分の定時まで平常通り勤務しており、同僚からも特に変わった様子はなかったと証言されている。
- ・ しかし早朝ランニングが日課の近隣住民により、同日 7 時 00 分にはすでに普段は駐車されているはずの彼女の自動車が無かったと証言、容疑者に浮上。それについて当人は詳細を黙秘している。
- ・ 事件との関係は不明だが、事件当日は妙にテンションが高く、同僚からの「何かあったのか」という問いに対してはぐらかすような態度を取っていたとの証言もあった。

事件のポイントとヒント

- ・ Y は実家暮らしであり、事件前日に Y の家族は Y の外泊を了承していた。
- ・ なお、Y の口から直接 B 乃のことが家族に伝えられることはなく、ただ「仲の良い友人の家に泊まる」とだけ言われていた。
- ・ また、Y の家族はその友人(B 乃)のことを男子だと思っていた。
- ・ 遺体が発見された公園は、Y の平常時の通学ルートからは外れている。
- ・ 進学以降、A 太と B 乃の関係は隔絶されていたものの、B 乃の男性恐怖症が快方に向かう兆しは確認されていない。